



2022(仏暦2565)年 5月号 (第128号)

# 万行寺寺報

Mangyoji Jiho

発行  
浄土真宗本願寺派 万行寺  
住職 山崎信充  
〒385-0003  
長野県佐久市下平尾4 6 1 - 1  
電話 0267-67-2460



## ■住職法話

おんどく ほうしや  
恩徳に報謝する

## ■浄土真宗 (新) 仏事のイロハ

## ■本願寺の本

ジャータカ物語

## ■編集後記

## 年忌法要表

1 周忌	2021(令和 3)年	23 回忌	2000(平成12)年
3 回忌	2020(令和 2)年	25 回忌	1998(平成10)年
7 回忌	2016(平成28)年	27 回忌	1996(平成 8)年
13 回忌	2010(平成22)年	33 回忌	1990(平成 2)年
17 回忌	2006(平成18)年	50 回忌	1973(昭和48)年



# 恩徳に報謝する

## 今月の法語

失ったものを  
数える人あり  
与えられたものに  
感謝する人あり

今月の法語は、豊島学由先生の「いのちの言葉 揭示伝道法語集」（法蔵館）の中にある言葉です。よくお寺にある揭示板用の法語を集めたものです。

ところで、ロシアによるウクライナ侵攻が収まりません。ますます激化していく様子です。両国の主張、特にロシア側の主張には何か無理が

あるとしか思えません。確かに旧ソ連時代を思うと世界が一変してしまい、西側諸国の勢いにのまれてしまい被害者意識が強いのは同情するところです。しかし、国々の文化主張はあるでしょうが、力でもって守ろうとする行為は何があっても許されることではありません。

今月の法語をいただきながら、法話の内容を考えていたところ、この度の戦争のことが思い浮かびました。戦争によつて失うものは数えきれないほどあります。大切な人を亡くすることもそうですが、人の心も荒んでいくものです。そんな暗い出来事の中にあ

って、希望を持たせてくれているのが、ウクライナのゼレンスキー大統領でしょう。与えられた大統領という職を、国民のために全うされている姿が世界中に希望を与えています。それは、映像などを通して、皆に感謝する姿勢があるからでしょう。

一方では、失ったものにごだわり続けることが、国を守ることだと勘違いしていて、今が満足していないと不満だらけになつて感謝すら出来ないのでしょうか。今、ある一人の主導者が世界中を混乱させています。  
浄土真宗を開かれた親鸞さまも著述の中に感謝のお心

を述べられています。代表的なのは、「恩徳讃」で知られるこの和讃です。

如来大悲の恩徳は  
身を粉にしても報ずべし  
師主知識の恩徳も  
ほねをくだきても謝すべし

（私を救う阿弥陀仏の恩恵は身を粉にしても報うべきである。阿弥陀仏の教えを親鸞聖人まで伝えたお釈迦さま、七人の高僧の恩恵も骨を砕いてでも感謝すべきである）

頂いた恩恵に気づかされ、感謝して報いるという報謝という姿勢を親鸞さまは貫かれました。見習いたいものです。



### 浄土真宗

## ◎ 仏事のイロハ

### 二、葬儀を行う

― 悲しみを超えて ―

### 「引導を渡す?」

## 浄土へ導いてくださるのは阿弥陀さま

葬儀で「引導を渡す」という言い方が使われる場合があります。この「引導」とは「死者を浄土などのさとの世界に引き導く」という意味で使われ、葬儀では、導師がそれを行うと受け取られているようです。

確かに他宗では死者に法語・願文を与えたり、喝を入れたりする儀式があり、葬儀の重要な要素になっているのですが、浄土真宗ではそうした

「引導」の儀式・作法は一切ありません（開式前に導師が三帰依文を唱えながら、剃刀を当てる儀式を行うことがあります、これは帰敬式と言います、これは帰敬式と言います、

引導の儀式ではありません。と言つのも、私たち凡夫を浄土に引き導くはたらきすべては、阿弥陀さまにあるからなのです。人（導師）が人（死者）を浄土に導く力は残念ながらありません。それだからこそ、またすべての人が阿弥陀仏の救いのお目当てで

あるとも言えましょう。死を目のあたりにして悲しみにくれる私たちは、阿弥陀さまのこうした救いの確かさ、有り難さを深く味わわねばなりません。それが浄土真宗の葬儀の大切なところでもあります。

浄土真宗のお勤めは、自宅から棺を送り出す直前に行う「出棺動行」と、葬る場に設けられた臨時の式場で行う「葬場動行」に分かれています。今では、それらを一カ所で行う場合がほとんどです。いずれにしても、間違いなく浄土へと救いとおつくださる阿弥陀仏のはたらきを仰ぎ、感謝するのがその中身です。

とこころで「引導」とは元来、死者を対象とするのではなく、「生きている人」を仏

道に引き導くことでした。したがって、本来は、すでにさとの境地に達しておられる

仏さまや菩薩さまの教化のはたらきをさしていました。世間で使われる「引導を渡す」が「最後通告してあきらめさせる」の意味であるとは、かなりかけ離れていますね。

なお、「導師」という言葉ですが、浄土真宗ではあくまで法要・儀式を執行する上での指導的立場の人という意味です。

「浄土真宗 ◎ 仏事のイロハ」 末本弘然著／本願寺出版社刊より



～本願寺の本～

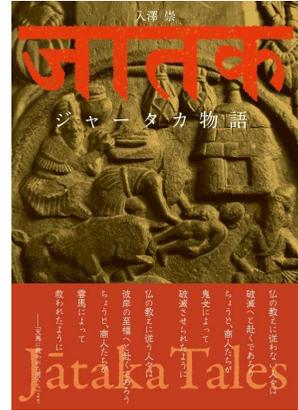
# 「ジャータカ物語」

入澤崇 著／本願寺出版社 刊 1,650円(税込),

仏教遺跡研究の第一人者が読み解く、古代インドの物語。

『イソップ物語』や『今昔物語』など、世界各地の説話や文学に影響を与えたとされるお釈迦さまの前世物語は「ジャータカ」と呼ばれる。インド各地の仏跡に刻まれた「ジャータカ図」の写真をオールカラーで掲載し、そこに描かれた物語を一話完結形式で解説する。

本願寺出版社ホームページより



### 携帯サイト

携帯電話からも商品をご注文いただけます。  
QRコードからアクセス→



## 親鸞聖人御誕生850年 慶讃法要 立教開宗800年

Joint Celebration

850th Anniversary of Shinran Shonin's Birth & 800th Anniversary of the Establishment of the Jodo Shinshu Teaching

### 法要期日

2023(令和5)年

第1期 3月29日(水)～4月3日(月)  
第2期 4月10日(月)～4月15日(土)

第3期 4月24日(月)～4月29日(土)  
第4期 5月6日(土)～5月11日(木)  
第5期 5月16日(火)～5月21日(日)

毎月16日はShinran's Day

親鸞聖人のご命日です ご参拝ください

浄土真宗本願寺派  
龍谷山 本願寺

### 編集後記

最近、小海線の風景にはまっています。ローカルな感じの雰囲気が良いです。◆お寺関係でも、ツイッター、フェイスブック、インスタグラムといったSNSでの情報発信が増えてきています。本山の本願寺でも発信しています。万行寺も、まず知って頂くことが重要ですから、何でも初めてみようとなれこれと模索中です。始めましたらよろしくお願ひします。◆連絡事項になります。◆ただいま、万行寺の役員変更の手続きを進めているところです。変更が完了しましたら、ご報告させていただきます。

